

株主のみなさまへ／長期構想 SIC27	1
業績ハイライト	3
事業別活動報告	4
グループトピックス	8
CSR	9
コミュニケーション広場	10
連結財務諸表の要旨	11
会社情報	12
株式情報	13

株主のみなさまへ

生活文化創造企業 東洋インキグループ

“For a Vibrant World”

100年レンジでの持続的成長が
可能な企業体質に変革し、
すべての生活者・生命・地球環境が
いきいきと共生する世界の実現に
貢献する企業グループを目指します



株主のみなさまにおかれましては、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。またこの度の新型コロナウイルス感染症や自然災害など、困難に立ち向かっていらっしゃる方々が一日も早く平穏な生活を取り戻せますようお祈り申し上げます。

東洋インキグループは、2018年度より「変化のための挑戦を繰り返す3年間」と位置づけて中期経営計画「SIC-I」をスタートさせ、成長に向けた既存事業の変革や新事業への挑戦に取り組んでいます。2020年度は「SIC-I」の仕上げの年として、年度方

針である「積極的に拡大させる事業への社内外との連携強化、重点投資による着実な成果の創出」、「生販技一体となったコストダウン、利益創出による事業やエリアの構造改革の確実な実行」、「業務改革への間断なき挑戦の繰り返しによる大胆な変化」を着実に推進してまいりましたが、世界的な消費活動の停滞に伴う販売の伸び悩みに加え、原材料の調達や生産活動への支障が発生するなど、非常に厳しい状況が続きました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間（1～

■ 長期構想

SIC27

Scientific Innovation Chain 2027

革新的な発想を科学的に実行し、それぞれの活動の連鎖によって、持続的に成長できる企業体質へと変革してまいります。

SIC-I
挑戦を
繰り返す
2018-2020

SIC-II
新しい成果を
積み重ねる
2021-2023

SIC-III
持続可能な
企業体質を
創り上げる
2024-2026

中期経営計画「SIC-I」基本方針

さらなる100年レンジでの持続的成長の礎を創り上げる期間と位置づけ、変革のための施策を立て続けに打つ

6月)の売上高は減収になりましたうえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ減益になりました。

以上のような状況ではありますが、東洋インキグループではWithコロナの中で新しい働き方を推し進め、感染リスクの低減と生産性の向上を両立させてまいります。そして日本および世界各地で日々の職務に取り組む東洋インキグループ全社員の意思と力を結集し、Afterコロナの時代を見据えたグループ全体の提供価値「For a Vibrant World (すべての生活

者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界)」の実現を目指して、社会の持続的な成長に貢献できる価値を創り続けてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年9月

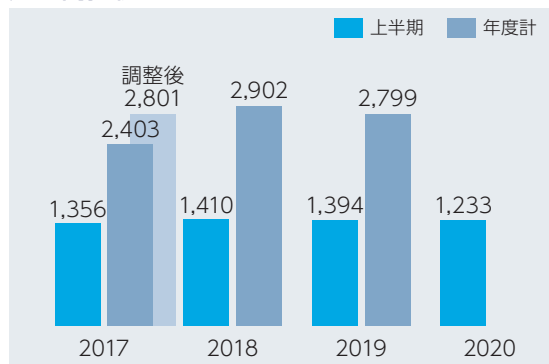
代表取締役社長 高島 悟

業績ハイライト

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

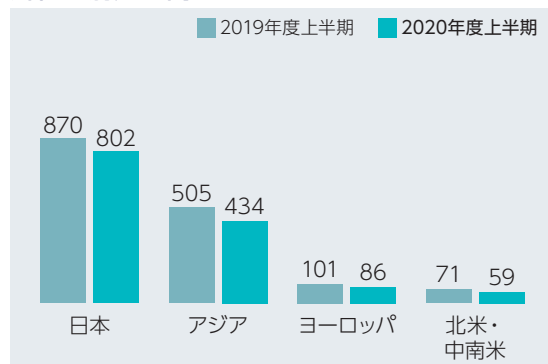
売上高推移

単位：億円



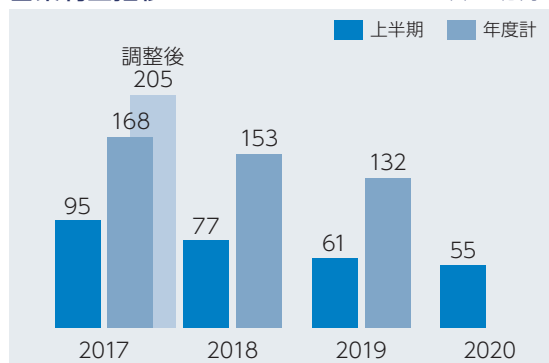
所在地別売上高

単位：億円



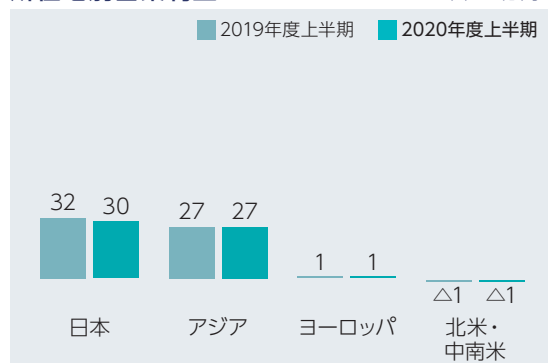
営業利益推移

単位：億円



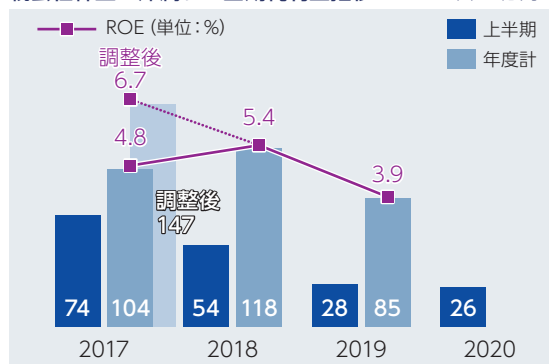
所在地別営業利益

単位：億円



親会社株主に帰属する当期純利益推移・ROE

単位：億円



当社は2017年度より、それまで毎年4月1日から翌年3月31日としていた決算期を、毎年1月1日から12月31日までに変更しています。

その為、2017年度は決算期変更の影響により、対象期間が国内は4～12月の9か月間、海外は1～12月の12か月間となっています。

※2017年度の「調整後」は、国内・海外ともに1～12月に調整した実績値です。

色材・機能材関連事業

色材のリーディングカンパニーである当社グループにとって、有機顔料の合成技術は原点の一つ。ナノレベルの分散技術は、液晶ディスプレイ用材料やレジストインキ、カーボンナノチューブなどにも展開されています。

中核事業会社：トーヨーカラー株式会社

◇主な製品 有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、カラーフィルター用材料など

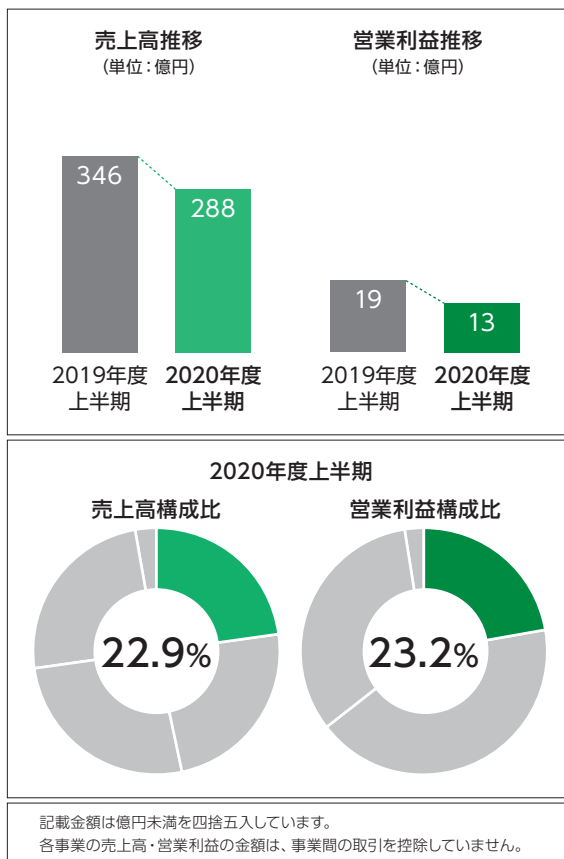


■ 当第2四半期までの概況

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、パソコンやタブレット用のディスプレイが伸長しましたものの、新型コロナウイルスの感染拡大や、それに伴うオリンピックを始めとするイベント中止などにより、大型テレビやスマートフォンの需要が低迷し、高機能製品が伸び悩み、利益が圧迫されました。

汎用顔料は、印刷インキ用の低調が続きましたうえ、自動車販売の落ち込みに伴い塗料用も低調に推移しました。

プラスチック用着色剤は、国内では衛生関連の容器用が伸長しましたが、外出自粛やインバウンド市場の落ち込みに伴い、飲料キャップ用や化粧品容器用などが伸び悩みましたうえ、建材や太陽電池向けなどの販売も減少しました。また東南アジアでの事務機器向けや、北米の自動車向けも低調に推移しました。



ポリマー・塗加工関連事業

樹脂（ポリマー）を素に、合成や塗加工の技術を生かし、自動車やエレクトロニクスの分野、太陽電池などのエネルギー分野、メディカル・ヘルスケア分野などで多くの機能性製品が採用されています。

中核事業会社：トーヨーケム株式会社

◇主な製品 缶用塗料、樹脂、接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、メディカル製品など



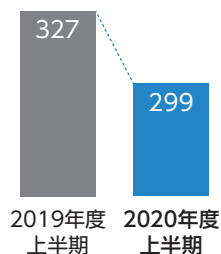
■ 当第2四半期までの概況

塗工材料では、高速通信対応の電磁波シールドフィルムの開発や拡販が進みましたものの、サプライチェーンの寸断や、その後の需要減少に伴うスマートフォン市場の低調により、全般的には売上、営業利益とも伸び悩みました。

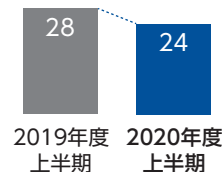
接着剤は、国内では包装用が堅調に推移しましたものの、リチウムイオン電池用は伸び悩みました。また海外では、新型コロナウイルスに伴う事業活動の一時停止により、中国や東南アジアが低調となりました。粘着剤は、国内ではラベル用は堅調でしたが、ディスプレイ関連や家電、自動車向けが伸び悩み、韓国や中国でも低調な推移となりました。

缶用塗料（フィニッシュ）は、国内では外出自粛に伴いアルコール飲料缶用が伸長しましたが、自動販売機向けのコーヒーや清涼飲料缶用は伸び悩みましたうえ、中国や北米でも低調に推移しました。

売上高推移
(単位：億円)

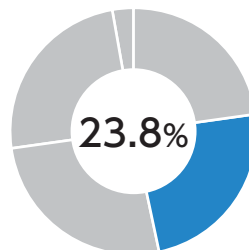


営業利益推移
(単位：億円)

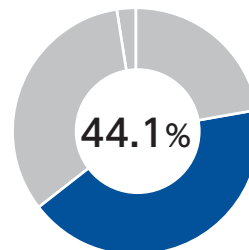


2020年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

パッケージ関連事業

パッケージの製造工程に多様な高機能製品を提供。安心・安全が求められる食品包装の分野では、インキや接着剤の水性化、無溶剤化などを進め、また、サステナブルな社会をめざし、バイオマス製品の開発も行っています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 グラビアインキ、フレキシオンキ、
グラビアシリンダー製版など



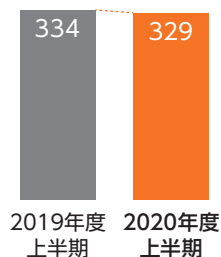
■ 当第2四半期までの概況

国内のグラビアインキは、主力の包装用でインバウンド需要は落ち込みましたものの、外出自粛に伴い冷食やレトルト等の家庭用食品向けや、衛生商品向けの販売が堅調に推移しました。一方、出版用の需要減少が続きましたうえ、建装材用も低調に推移し、溶剤や機器販売も減少しました。

海外では、中国や東南アジア、インドなどで、顧客や自社拠点の操業停止に伴う影響を受けましたものの、生活必需品として比較的早く稼働を回復できましたうえ、環境対応製品の拡販も進みました。

グラビアのシリンダー製版事業は、包装用が後半に伸び悩みましたが、エレクトロニクス関連の精密製版の拡販は進みました。

売上高推移
(単位：億円)

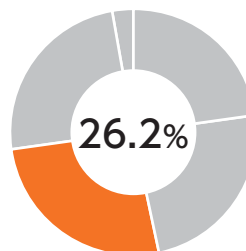


営業利益推移
(単位：億円)

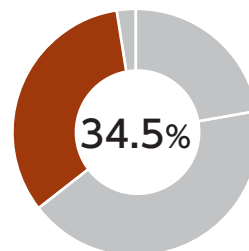


2020年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

印刷・情報関連事業

当社グループの原点であり、重要な基盤事業の一つ。顔料や樹脂から最終製品までを一貫生産できる強みを生かし、環境調和型や高性能など多様な製品を開発。印刷工程での標準化サポートなどのソリューションも提供しています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 オフセットインキ、金属インキ、印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料、インクジェット材料など

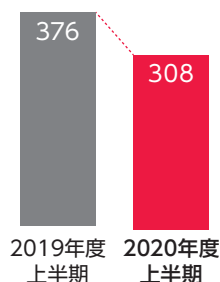


■ 当第2四半期までの概況

デジタル化に伴う情報系印刷市場の縮小が続くなか、国内ではビジネス規模の最適化や同業他社との協業、コストダウンを強力に進め、利益の確保を図る一方、海外ではグローバルな拠点拡充を図りました。また、高感度UVインキや、オンデマンド印刷向けインクジェット用インキなどの開発や拡販にも取り組みました。また、環境規制に伴う原材料価格上昇の一部を転嫁させていただくため、販売価格の改定も進めております。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大や長期化に伴い、国内では外出自粛やイベント中止などでチラシや広告などの印刷物が減少し、インキの需要減少が進みました。また中国やインドなど一部地域では事業活動の一時停止も余儀なくされました。

売上高推移
(単位：億円)

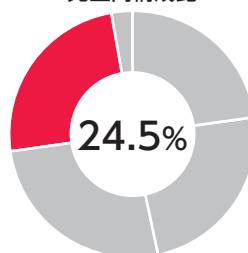


営業利益推移
(単位：億円)

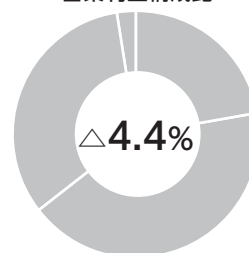


2020年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

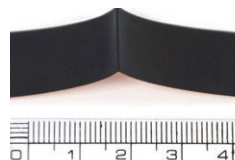
ハイエンド携帯端末向け 次世代EMIシールド材料を開発

当社の連結子会社であるトーヨーケム株式会社（以下、トーヨーケム）は、5G（第5世代移動通信システム）化による需要に応えるため、優れた柔軟性を持ち、かつシールド性能を向上させた高周波対応電磁波シールドフィルム「リオエルム TSS®500 シリーズ」を開発しました。

高周波対応電磁波シールドフィルム
「リオエルム TSS®500 シリーズ」

高周波対応電磁波シールドフィルム

5Gの普及が進むにつれ、より高い周波数帯を利用した高速データ通信が増加するため、次世代の電子回路基板にはより高いEMIシールド性能が求められています。また、用途に関わらずEMIシールド材料には折り曲げ性が要求されます。



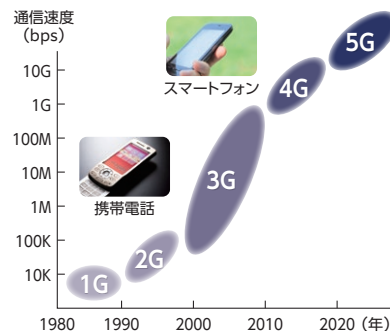
これらの需要に応えるため、トーヨーケムが開発した「リオエルム TSS®500 シリーズ」は、特殊ポリウレタン樹脂中に金属フィラーを均一に分散させ、高湿度や高温などの過酷な環境下でも安定した導電性を発揮します。従来のEMIシールドと比較して高い導電性を有しているため、通信の高速化および大容量化に伴う信号ロスを大きく抑制することができるようになりました。

また、曲げ試験では、従来の製品では5回の試験でクラックが発生するのにに対し、20回繰り返し曲げてもクラックが発生しません。

これらの性能により、次世代EMIシールド製品「リオエルム TSS® シリーズ」は、携帯機器メーカーから高い評価を得ています。トーヨーケムでは、これらの実績をもとに、高い信頼性と柔軟性が求められるハイエンド携帯端末向けに、EMIシールドの新基準を打ち立てていきます。

EMIシールド

スマートフォンやタブレット、スマートウォッチなどの電子機器には、プリント基板（PCB）やフレキシブルプリント基板（FPC）が互いに近接して搭載されています。電子部品が増えると、異なる周波数帯の信号が多く存在することで、互いに干渉するため、電子部品や回路には電磁干渉を防ぐため、EMI（electromagnetic interference）シールドが必要となります。



新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた 東洋インキグループの取り組みについて

東洋インキグループは
新型コロナウイルス感染症の
拡大防止に
取り組んでいます。

東洋インキグループ
オリジナルキャラクター
リオちゃん



東洋インキSCホールディングス株式会社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社員および関係者のみなさまの安全確保に向けて2月27日に対策本部を設置し、勤務体制・事業活動・社員教育支援に関する諸施策をグループに展開してまいりました。

その上で東洋インキグループは、「生活文化創造企業」として、社会で必要とされる製品・技術の提供を続けるため、緊急事態宣言発出下においても各製造所・工場では感染対策を厳格に行った上で通常の操業体制を維持しました。

主な施策

勤務体制について

- 検温、マスク着用、手洗い、消毒の励行
- 通勤形態や業務内容等に応じて、テレワーク、在宅勤務の推奨
- ピーク時を避けた時差出勤の推奨

事業活動について

- ウェブ会議・TV会議の活用
- 出張の原則禁止
(移動制限解除後は段階的に緩和するも、ウェブ会議等の積極的な実施により低減)
- 不特定多数が集まるイベント・大会議の延期・中止・ウェブ配信による規模縮小
- BCPの推進による事業活動への影響の最小化

社員に対する教育、 支援について

- 感染予防および拡大防止を徹底するため、全社員向けガイドブックの提供と周知
- 休園・休校等により子の養育が必要な社員へ、積立休暇の使用、特別休暇の追加
- 駐在員及び家族の安全を最優先とした一時帰国を含めた措置
(各国の事情に応じて柔軟に対応)

東洋インキグループはWithコロナの新常態の中で、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて取り組むとともに、生産性向上やイノベーションを起こすための働き方改革を推し進めてまいります。

なお、上記内容については、当中間報告書作成時(2020年8月中旬)における東洋インキグループの取り組みです。

Q 顔料分散技術などを生かして
様々な分野で開発を進めてほしい。

当社では、株主のみならずと双方向コミュニケーションを目指し、年に1回アンケートを実施しています。ここでは、特に多くの方からいただいたご質問・ご要望にお答えいたします。

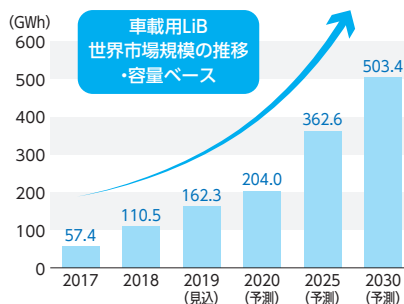
A 独自の分散技術により、リチウムイオン電池の電極材料を提供します。

当グループの分散技術は、顔料などの色材にとどまらず、機能性材料の分散にも広く用いられています。環境負荷低減に貢献し、高出力・大容量が特長のリチウムイオン二次電池 (LiB) には、トヨーカラー株式会社 (以下、トヨーカラー) のLiB用CNT (カーボンナノチューブ) 分散体が導電助剤として使用されています。



LiBを搭載するハイブリッド車やEVは、走行中のCO₂排出を大幅に削減することから需要が急増しています。そのため、LiBには脱炭素社会における新たな電力インフラの要として、大容量化、軽量化、安全性や耐久性の向上が求められています。

トヨーカラーのLiB用CNT分散体は、独自の分散技術によってCNTを高度に分散加工したペースト状の製品です。ごく少量の添加で高導電性を確保できる為、LiBの大容量化を実現します。さらに、高純度のCNTを扱いやすい分散体として製品供給しているため、LiBの生産効率や安全性の向上に大きく寄与しています。東洋インキグループは、日本・中国・北米・ヨーロッパの生産拠点によるグローバル供給体制を構築しており、再生可能エネルギーの普及と脱炭素社会の推進に地球規模で貢献します。



グラフ出所: (株)矢野経済研究所「車載用リチウムイオン電池世界市場に関する調査(2019年)」2019年10月21日発表

連結財務諸表の要旨

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

科目	2019年12月31日現在	2020年6月30日現在
流動資産	2,000	2,026
固定資産	1,762	1,651
資産合計	3,761	3,676
流動負債	1,067	1,004
固定負債	425	509
負債合計	1,492	1,513
資本金	317	317
資本剰余金	325	325
利益剰余金	1,466	1,466
自己株式	△50	△50
その他の包括利益累計額	135	30
新株予約権	3	3
非支配株主持分	72	71
純資産合計	2,269	2,163
負債純資産合計	3,761	3,676

連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

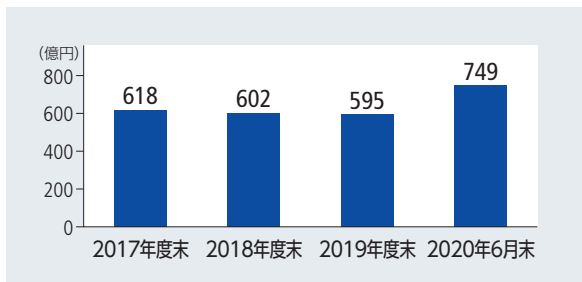
科目	2019年度上半期	2020年度上半期
売上高	1,394	1,233
売上原価	1,091	959
販売費・一般管理費	242	218
営業利益	61	55
営業外収益	9	11
営業外費用	7	17
経常利益	63	49
特別利益	4	0
特別損失	28	5
税金等調整前四半期純利益	40	45
法人税・住民税及び事業税	25	25
法人税等調整額	△14	△9
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	28	26

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

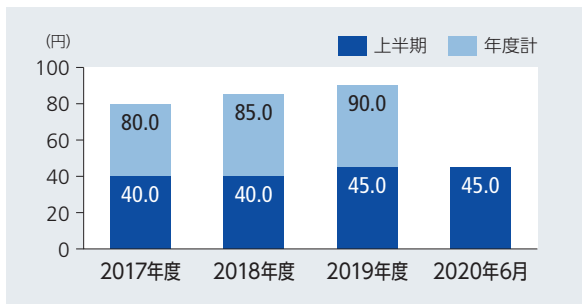
(単位：億円)

科目	2019年度上半期	2020年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	101	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46	128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△6
現金及び現金同等物の増減額	2	113
現金及び現金同等物の期首残高	510	538
現金及び現金同等物の四半期末残高	511	650

◎有利子負債の状況



◎1株当たり配当金



●中間配当金：1株につき45円

●中間配当の効力発生日（支払開始日）：2020年9月1日

※1株当たり配当金は、2018年7月1日をもって実施しました株式会社併合の併合割合を勘案して、記載しております。

会社概要

創業	1896 (明治29) 年1月
設立	1907 (明治40) 年1月15日
資本金	31,733,496,860円
発行済株式総数	60,621,744株
社員数	(連結) 8,183名 (単独) 422名

役員 (取締役・監査役)

代表取締役会長	北川 克己
代表取締役社長	高島 悟
専務取締役	青山 裕也
常務取締役	濱田 弘之
常務取締役	中野 和人
取締役	甘利 公人
取締役	木村 恵子
取締役	酒井 邦造
取締役	金子 眞吾
取締役	平川 利昭
取締役	井出 和彦
常勤監査役	石川 隆
常勤監査役	垣谷 英孝
常勤監査役	野邊 俊彦
監査役	池上 重輔
監査役	小野寺千世

グループ主要営業品目

有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、
カラーフィルター用材料、缶用塗料、樹脂、
接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、
メディカル製品、グラビアインキ、フレキシソインキ、
グラビアシリンダー製版、オフセットインキ、
金属インキ、印刷機械、印刷機器、
プリプレスシステム、印刷材料、インクジェット材料

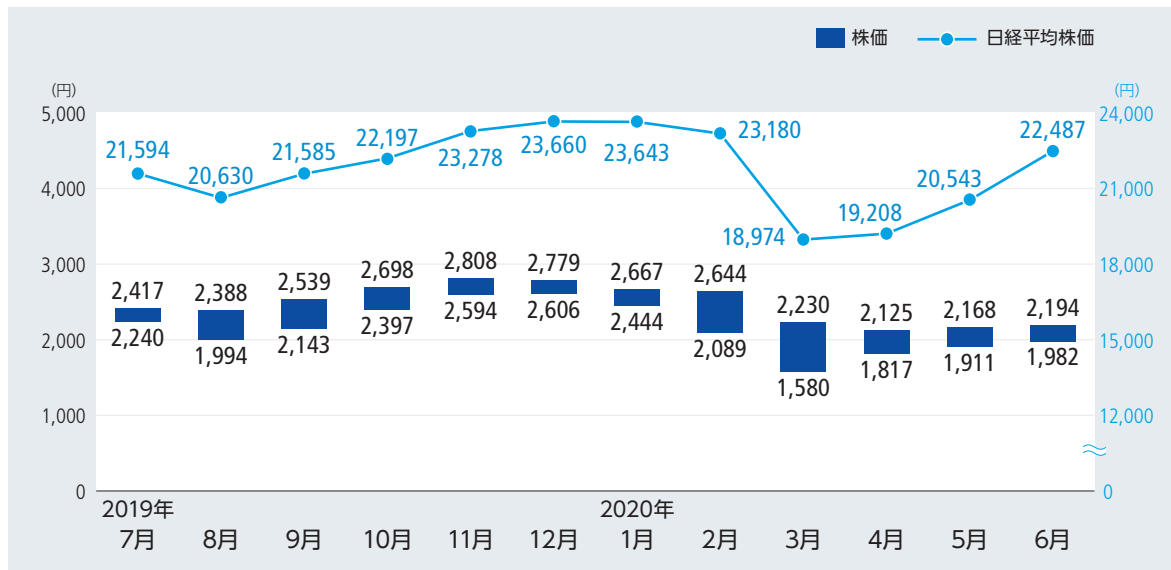
事業拠点

※太字 製造拠点含む

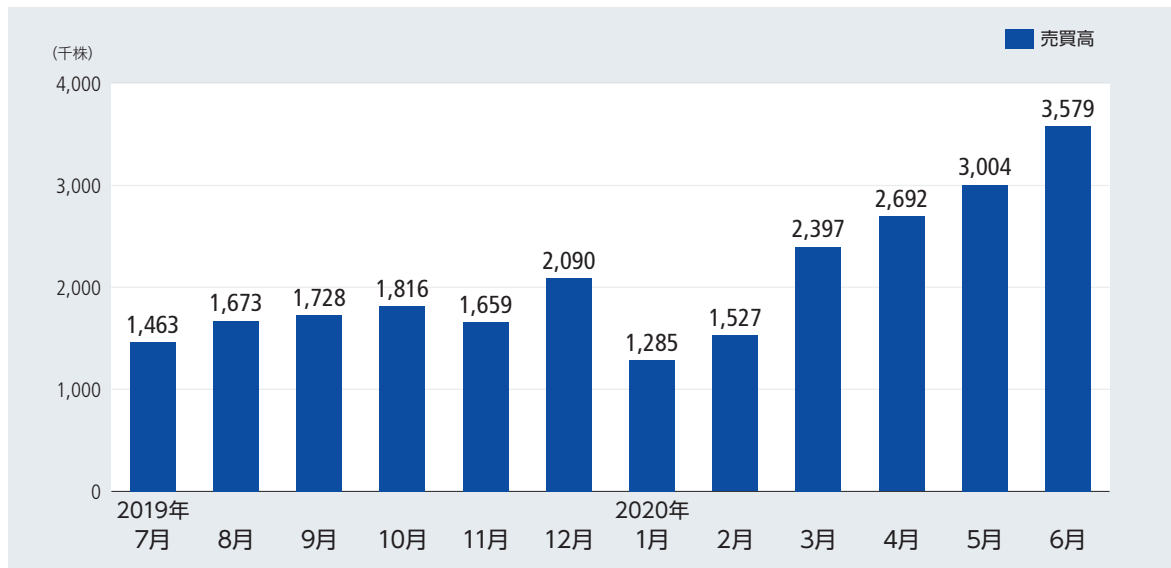
国内拠点所在地	札幌 千歳 仙台 東京(京橋、十条) 千葉 茂原 川口 埼玉 川越 東松山 富山 金沢 長野 新潟 名古屋 静岡 富士 春日井 守山 大阪 寝屋川 京都 西神 尼崎 岡山 広島 高松 福岡 北九州 熊本
海外拠点所在地	アメリカ合衆国 カナダ ブラジル メキシコ フランス ベルギー イギリス ドイツ リトアニア トルコ 中華人民共和国 台湾 大韓民国 シンガポール タイ マレーシア ミャンマー フィリピン インドネシア ベトナム インド アラブ首長国連邦 モロッコ

株式情報

◎株価の推移 (東京証券取引所)



◎売買高の推移 (東京証券取引所)



◆大株主

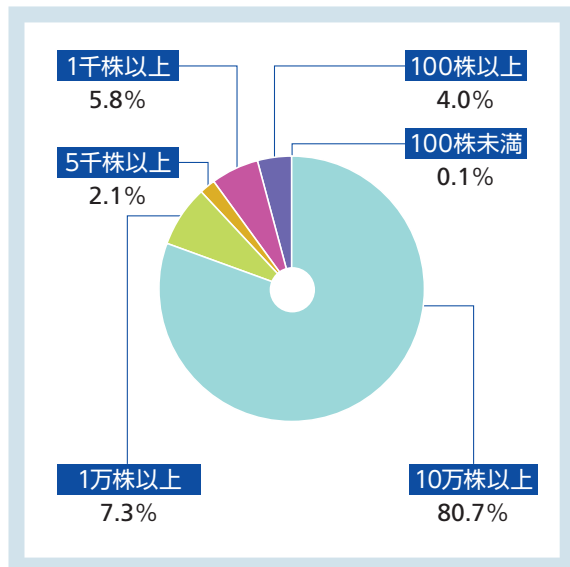
2020年6月30日現在

順位	会社名	持株数(千株)	持株比率
1	凸版印刷株式会社	13,646	22.51%
2	サカティンクス株式会社	2,335	3.85%
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,805	2.98%
4	SMBC日興証券株式会社	1,740	2.87%
5	株式会社日本触媒	1,661	2.74%
6	全国共済農業協同組合連合会	1,541	2.54%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,508	2.49%
8	東洋インキグループ社員持株会	1,399	2.31%
9	東洋インキ取引先持株会	963	1.59%
10	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	849	1.40%

※自己株式2,206,853株を除く。

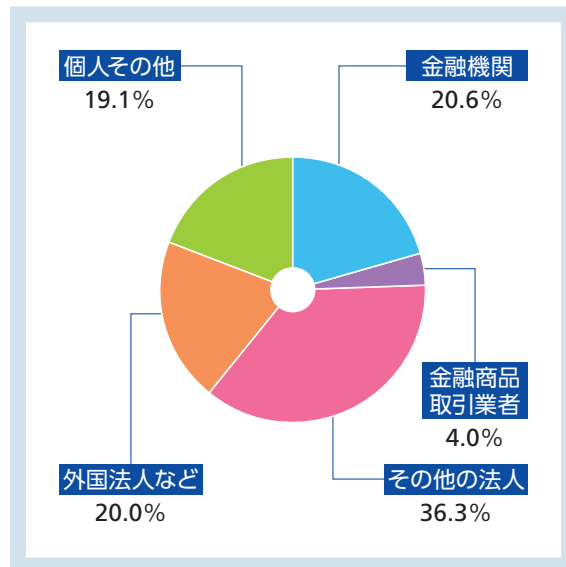
◆所有数別株式数比率

2020年6月30日現在



◆所有者別株式数比率

2020年6月30日現在



株式のご案内

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 ●定時株主総会・期末配当：毎年12月31日
●中間配当：毎年6月30日

株主名簿管理人

および
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◎住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

◎未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を2単元(200株)以上かつ1年以上継続保有する株主さまを対象に、年1回、当社オリジナルカタログからお好みの商品(1,000円相当)を1点お選びいただき、贈呈いたします。毎年9月下旬頃に当社オリジナルカタログを発送し、お選びいただいた株主さまから順次、発送させていただきます。

東洋インキ SC ホールディングス 株式会社

〒104-8377 東京都中央区京橋二丁目2番1号

この冊子に関するお問い合わせ先 グループ総務部 TEL.03(3272)5731
インターネットによるお問い合わせ先 <https://schd.toyoinkgroup.com>
E-mail info@toyoinkgroup.com



この報告書は、当社グループのTOYO KING® NEX NVシリーズを使用して印刷しています。

このインキは、バイオマス度40%以上で、石油系の揮発性有機化合物(VOC)を含まない環境にやさしいインキです。